

平成26年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 地域主体のまちづくりの促進
-----	-----------------

施策主管課	みんなでまちづくり課	総合計画記載頁	159ページ
-------	------------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	VI 持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	政策名 (基本施策名)	23 市民が主役のまちづくりを推進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	市民や地域活動団体、NPOなど、多様な主体による連携したまちづくり活動や、市政への積極的な参画によって、市民が主役となったまちづくりが実践されています。
------	-----------------------------	----------------	---------------------	---------------------	--

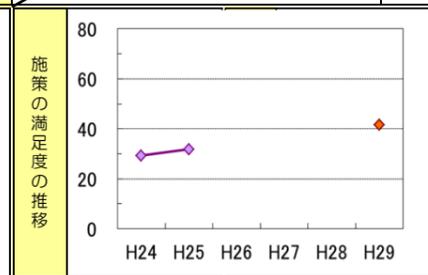
2 施策の取組状況

施策目標	地域住民が、コミュニティを大切にしながら、地域の特性に合わせ一体的にまちづくり活動に取り組んでいます。
------	---

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	指標1	自治会加入率(%)	単年度目標値	68.8%	69.0%	69.2%	69.4%	69.7%			70.0%	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	29.3%	31.8%			
現状値		68.6%	実績値	68.6%	68.0%					目標値(H29)	41.6%			前年度からの増減	2.5%					
目標値(H29)		70.0%	単年度の達成度	99.7%	98.6%															
指標2	地域まちづくり計画推進地区数(地区)	単年度目標値	20	24	28	32	36	39	A	【参考】中核市等との水準比較	自治会加入率(%)		中核市平均	76.7	75.0					B
	現状値	14地区	実績値	18	22								実績値	68.8	68.6					
	目標値(H29)	39地区	単年度の達成度	90.0%	91.7%								中核市での本市の順位	28位/41市中	25位/41市中					
		単年度目標値									中核市平均									
		現状値									実績値									
		目標値(H29)									中核市での本市の順位									

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減進型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	◆東日本大震災等を契機に、ボランティアへの参加や避難所の開設に伴う地域団体等との連携が積極的に行われるなど、市民の主体的な活動が活発化しており、社会貢献活動に取り組む機運が高まっている。 ◆県において地域主権や住民との協働による行政の推進の必要性を掲げており、「新たな公の担い手支援事業」が実施されている。	市民満足度	市内39地区に設立された地域まちづくり組織や自治会等による安全・安心で住みよい地域づくりや、環境美化、地域防犯、ごみステーションや防犯灯の管理など、地域住民の日常生活を支える活動に加え、各種イベントの開催や、地域広報紙や地域ホームページを活用した周知啓発に取り組んでいることから、身近な地域のまちづくりについて市民意識が高まりつつある。	総合評価	83点 概ね順調
施策指標	◆(自治会加入率)帰属意識の低下、地域コミュニティの希薄化などにより、自治会への加入率の低下が取りざたされる中、モデル地区(集合住宅等)での加入促進や、PR用DVD・対象者別の加入チラシの作成に加え、プロスポーツとの連携など、新たな加入促進策を実施するとともに、自治会の魅力発信に努めた結果、自治会加入世帯数は増加したが、自治会加入率は、市の世帯数の伸びの影響から0.6ポイント低下したものの、現状を概ね維持することができた。 ◆(地域まちづくり計画)地域自らが目指すべき姿を描く地域まちづくり計画の策定に向け、各センターによる継続したまちづくり活動の支援や研修会の実施により、前年度比4地区増の成果が得られた。				

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H25 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	協働の地域づくり支援事業補助金	○★	特色ある地域づくり活動の促進	地域まちづくり組織	・地域まちづくり組織の活動への支援	計画どおり	38,032	H15		・地域課題やニーズに対し、地域特性を十分生かし、地域が主体的に取り組めるよう、補助金の活用や事業展開のアドバイス、地域間のコーディネートなどを支援していく。平成26年度から地域事務局の機能強化に係る予算を拡充する。
2	宇都宮市自治会連合会補助金	○★	自治会活性化の促進	宇都宮市自治会連合会 地区連合自治会 単位自治会	・宇都宮市自治会連合会の活動への支援 ・自治会加入促進	計画どおり	54,011	S54		・地域主体のまちづくりの実現には、住民に最も身近なコミュニティである自治会の活動の活性化は非常に重要であることから、引き続き活動の支援を行っていく。
3	地域集会所等建設推進事業補助金	○★	活動場所・居場所の整備促進	単位自治会	・地域集会所建設のための補助	計画どおり	23,804	S53		・自治会の活動拠点の整備を進めるため、自治会からのニーズに対し、補助していく。 ・平成26年度から地域集会所の建設費および家賃補助に係る予算を拡充する。
4	コミュニティ助成事業補助金	★	活動場所・居場所の整備促進	地域まちづくり組織	・まちづくり活動に必要な設備・備品購入費への補助	計画どおり	5,000	S60		・(財)自治総合センターの助成制度を有効に活用し、まちづくり活動に必要な設備・備品購入を、地域コミュニティセンターの改築時期等に併せながら計画的に進める。
5	自治会や地域まちづくり組織の支援	○★	特色ある地域づくり活動の促進	単位自治会 地域まちづくり組織	・自治会活動表彰 ・地域まちづくり計画未策定地域を対象とした研修会の実施	計画どおり	288	H18		・自治会活動表彰や地域まちづくり計画の策定支援を行い、市民が主役のまちづくりを推進していく。また、自治会への加入促進や活動の活性化が急務であることから、平成26年度から自治会活性化の取組に係る予算を拡充する。
6	上河内イメージアップ看板維持管理事業		特色ある地域づくり活動の促進	地域住民、地域外住民	・上河内地区イメージアップ看板の維持・管理	計画どおり	55	H19		・上河内地域の特産物であるユズをキャラクター化した「地区案内板」を適切に維持・管理をする。
7	上河内地区体育祭等交付金		特色ある地域づくり活動の促進	地域住民	・上河内地区体育祭等実行委員会の自主運営に向けた支援	計画どおり	800	H22		・平成26年度より市からの交付金を廃止。地域の自己負担でまちづくり協議会が実施していくことから、まちづくり協議会に設置した体育祭実行委員会等を支援し、新しい地域主体によるまちづくり事業として、継続的な開催に向けた運営を図っていく。
8	上河内梵天祭り交付金		特色ある地域づくり活動の促進	梵天祭り実行委員会、近隣市町を含む宇都宮市民全体	・梵天祭り実行委員会への運営支援	計画どおり	2,000	H19		三百有余年の歴史と伝統ある梵天祭りを、地域一丸となって取り組んでいけるよう、地域の一体感の醸成はもとより、観光イベントとして市内外の交流に寄与するよう、活動の更なる活性化を支援する。
9	上河内サマーフェスティバル交付金		特色ある地域づくり活動の促進	上河内サマーフェスティバル実行委員会、地域住民	・上河内サマーフェスティバル実行委員会への運営支援	計画どおり	1,070	H19		・平成26年度より市からの交付金を廃止。地域負担により、住民自ら企画運営する、住民参加型の上河内ふれあいまつりが開催される予定。
10	上河内産業祭り交付金		特色ある地域づくり活動の促進	上河内産業祭実行委員会、地域住民	・上河内地域産業祭実行委員会への運営支援	計画どおり	1,150	H19		・平成26年度より市からの交付金を廃止。地域負担により、住民自ら企画運営する、住民参加型の上河内ふれあいまつりが開催される予定。
11	河内地区体育祭交付金		特色ある地域づくり活動の促進	河内地区体育祭実行委員会、地域住民	・河内地区体育祭実行委員会への運営支援	計画どおり	1,680	H19		・平成26年度より地域の主体的な運営事業となったことにより市からの交付金を廃止とする。
12	かわちハートフル運動会交付金		特色ある地域づくり活動の促進	かわちハートフル運動会実行委員会、地域住民	・かわちハートフル運動会実行委員会への運営支援	計画どおり	580	H20		・平成26年度より地域の主体的な運営事業となったことにより市からの交付金を廃止とする。
13	河内ふるさと産業まつり交付金		特色ある地域づくり活動の促進	河内ふるさと産業まつり実行委員会、地域住民	・河内ふるさと産業まつり実行委員会への運営支援	計画どおり	2,000	H19		・河内地域を挙げたイベント事業とするため、産業まつりの目的や内容、費用負担等について、関係団体や市関係課と十分に協議し、地域が自主的・主体的に企画運営できるよう検討する。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆超高齢社会や人口減少時代の突入に向け、安全で安心して生活できる地域社会を形成するため、地域の最も基礎的で中核的な組織である「自治会」への加入を促進し、顔の見える関係づくりを構築する必要がある。</p> <p>◆地域コミュニティの活性化を図るため、身近なところでの「集う場」「話す場」「つながる場」としての活動場所や機会を創出する必要がある。</p> <p>◆複雑化多様化する地域課題やニーズへの対応や、地域特性を活かしたまちづくりを行うため、地域総意による地域まちづくり計画の策定を促進し、多くの地域住民の参加と目指すべきまちづくりの姿の共有化を図る必要がある。</p> <p>◆地域の力を結集し、自立的なまちづくりの実現を図るため、地域まちづくり組織の企画力や調整力の向上など組織の機能強化と活性化を図るとともに、地域まちづくりに係る多様な構成団体との連携を支援する必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆日常生活の安全安心を支える絆づくりの推進(小さなコミュニティの活性化)と地域が一体となったまちづくりの推進(大きなコミュニティの活性化)により、地域主体のまちづくりを促進していく。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>◆(協働の地域づくり支援事業補助金)地域の特性や力を活かし、「地域まちづくり計画」の策定やその計画を尊重したまちづくりの実現など、地域の目指すべき姿に向けた取組が、主体的、計画的、効果的に展開できるよう、補助制度の充実を図っていく。</p> <p>◆(宇都宮市自治会連合会補助金)自治会活動の「見える化」を重点キーワードとして、自治会が身近で、魅力あるものとして発信していくとともに、地域に住むすべての住民に関わることとして意識付けが図られるよう、宇都宮市自治会連合会とともに進めていく。</p> <p>◆(地域集会所等建設推進事業補助金)身近なところでの活動の場所や機会を提供するため、地域集会所が「会議をする場所」だけでなく、多世代の誰もが「気軽に立ち寄ることのできる場所」としての役割も担えるよう、補助制度の充実を図っていく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p> <p>◆上河内地区(体育祭等交付金、サマーフェスティバル交付金、産業祭り交付金)、河内地区(体育祭交付金、ハートフル運動会交付金)については、平成26年度より廃止とする。</p>